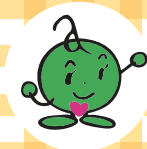


がんばって
います!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



谷口家(津市)

・会員数 6名 ・サポーター数 2名 ・クラブの構成 家族やお友達 ・代表サポーターの谷口さんに聞きました

いつどのようにできたのですか？

三重県環境学習情報センターのインタープリター養成講座を受講したことがきっかけで、まずは、身近な家族に「自然からのメッセージを伝えよう」と思い、3年前から活動を始めました。「谷口家」というそのまんまのネーミングの家族エコクラブですが、最近では、お友達にも声をかけながら、さまざまな環境イベントに参加しています。



写真①里山たべあるぎ・野草観察会の様子

どのような活動をしていますか？

活動の例として、NPO三重の里山を考える会が主催する「里山たべあるぎ・野草観察会」に、毎年参加しています。里山を散策して見つけた野草(セリ、ワラビ、ドクダミ、ヨモギ、アケビ、ユキノシタ、葛(クズ)、サクラの葉、桑の葉、ミツバ、柿の葉、ハチク等)を天ぷらにすると、とても美味しく、自然の恵みを感じることができました。開催場所の柏尾原学習林(津市久居明神町)は、津市の市街地近郊にありながら、多様な生物が生存する自然豊かな場所なので、時折、みんなで自然観察を行っています。



写真②米作りの様子・・・除草機を使ってみました。

また、昨年度は美杉の体験型農家民宿「なかや」さんにお世話になり、家族で1年を通して、米作りの体験を行いました。サワガニやアカハライモリ等が住む美杉のきれいな水で、農薬をほとんど使わず、昔ながらの手作業で自分たちが育てたお米の味は格別でした。米作りの大変さとお米のありがたさを実感しました。



写真③米作りの様子・・・はさ掛けを行いました。

どのようなことを子どもに伝えたいですか？

身近な自然の中にも新しい発見があることを、最近つくづく感じています。この身近な自然の中で、子どもたちにできるだけたくさん「自然からのメッセージを伝えよう」と思っています。

また、自然や生き物のことを知ることは、実物を観察することが最も効果的だと思います。子どもの頃に、自然の中でわくわくする発見をしたり、五感で感じる体験をしたりすることで、将来大きくなったときに、世界や地球規模で起こっている様々な出来事との関わりを考えるきっかけになってほしいと思っています。

こども
エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。

●入会費・登録費無料 ●お問い合わせは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」
<http://www.ecoclub.go.jp>